



2020. 8. 7. No1399
静岡県漁業協同組合連合会
☎054-254-6011 Fax054-253-9343
編集・発行＝指導部漁業振興課
URL: <http://www.jf-net.ne.jp/sogyoren/>

1. 第40回全国豊かな海づくり大会開催見送り

宮城県石巻市で9月26・27日に予定されていた「第40回全国豊かな海づくり大会」の開催が1981年に始まって以来、初めて見送られることになりました。

首都圏をはじめとして、全国各地で新型コロナウイルス感染症の発生が継続し、今後も感染拡大が懸念される状況の中、天皇・皇后両陛下をはじめ全国から多くの来賓・来客を迎えて、本大会を開催することは極めて困難であると判断し、宮城県の村井嘉浩知事が大会を共催する、豊かな海づくり大会推進委員会（事務局：JF全漁連）に見送りを申し入れ、合意したということです。

既に2021年は兵庫県、2022年は北海道での開催が決定していますが、宮城県は2道県や水産庁・全漁連と協議を重ねており、来年秋に1年延期して開催する方向で調整し、目途が立ったとのこと。兵庫県・北海道での開催は、それぞれ1年ずつ順送りされる予定です。

2. 第71回全国漁港漁場大会開催中止 — 全国漁港漁場協会 —

全国漁港漁場協会（橋本牧会長）は10月29日に北海道函館市で予定していた第71回全国漁港漁場大会について、このほど道内で開かれた第4回実行委員会で、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から開催中止を決定したと発表しました。

今年度は同日に大会に代えて都内で全国集会（仮称）を開催する予定で、来年度の対応については検討中とされています。全国集会（仮称）は東京・東新橋のヤクルトホールで午後1時に開始し、大会で実施予定だった表彰式のほか、終了後には関係省庁などへの要請行動も行う予定です。詳細については今後煮詰めていくとのこと。

3. 水産イノベーション対策推進事業の第二次募集締切 — 県水産振興課 —

令和2年度の水産イノベーション対策推進事業の第二次募集が7月31日をもって締切されました。本事業は水産業に携わる皆様の新たなアイデアの実現を促進するためのスタートアップ経費を支援するもので、昨年度から実施されている事業です。補助率は3分の2以内で、個人の申請では上限50万円、団体の申請では上限100万円が補助されます。

また、今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大による影響を受けた方を対象に「新型コロナウイルス感染症対策特別枠」が措置されています。これは新型コロナウイルス感染症の拡大により、大幅な需要の減少に伴う売上の低迷などの影響を受けた方々を対象に、このような事態を乗り越えるための新たな取組の支援をするものです。

安全・安心な水産物供給と活力ある漁業づくりに努めよう

自立漁協の構築に向け合併・事業統合を進めよう

今回の第二次募集では55件の申請がありました。これらの申請は今後有識者等の審査を経て交付決定がなされ、事業完了後に補助金が支給されることとなります。

4. 「経営継続補助金」の第1次受付が締切 — (一社)全国農業会議所 —

令和2年度第2次補正予算で措置された「経営継続補助金」の第1次受付が7月29日(水)に締切されました。この補助金は、新型コロナウイルス感染症の拡大が多く農林漁業者に深刻な影響を及ぼしている状況にあることから、新型コロナウイルス感染症拡大による影響を乗り越えるため、感染防止対策や販路回復・開拓、経営継続のための取組みを総合的かつ迅速に支援するもので、予算額としては約200億円が措置されています。

この補助金の水産関係の対象者は、漁業を営む者で常時使用する従業員数が20名以下であることが条件で、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を克服し、経営の継続を図るためにいくつかの要件に合致する取組みを行うこと等とされており、支援機関である所属漁協と協力して経営計画書を作成し、漁協から確認書の発行を受けたうえで申請を行うこととされています。

第1次受付については、この補助金が措置されてから受付締切までの期間が短かったものの、最終的には単独申請108件、共同申請27件（参画者211名）の申請がありました。今後は補助金事務局である、(一社)全国農業会議所により申請書・経営計画書が審査され、その結果により採択・不採択の通知が8月中旬から9月上旬に行われる予定です。

また、既に第2次受付が補助金事務局より発表されており、第1次受付分の採択決定後、9月中旬頃より開始される予定になっています。但し、この補助金は単年度事業のため、事業の実施期間は第1次受付分と変わらず2020年12月31日までとなっているので、第2次受付で申請を考えている方は実施期間に注意が必要となります。

5. 養殖用配合飼料補填発動 — 漁業経営セーフティーネット構築事業 —

漁業用燃油と養殖用配合飼料の価格高騰時に備えた「漁業経営セーフティーネット構築事業」の養殖用配合飼料において、令和2年度第1四半期（令和2年4～6月）の平均配合飼料価格が195,674.0円/トンとなり、補填金の発動ライン（7中5平均配合飼料価格＝183,986.3円/トン）を超過したため、補填単価：11,680円/トン（10円未満切り捨て）の補填が発動されました。今後は購入実績の報告等を経て9月末頃に補填金が交付される予定となっています。なお第1四半期の漁業用燃油についての補填発動はありませんでした。

本紙は、県内の漁業振興を目的に（公財）静岡県漁業振興基金の協力により発行する定期刊行物です。

漁協系統事業の全利用運動を進め組織の強化を図ろう